



県政報告

発行責任者／三重県議会議員 杉本熊野

2012年、津市出身の吉田沙保里選手が世界選手権と五輪を合わせて
13回連続世界一の偉業を成し遂げ、国民栄誉賞を受賞されました。
わたしたちは大きな感動と勇気をいただきました。

三重県では、5年後に全国高等学校総合体育大会(インターハイ)、8年後には



2012.8.10

国民体育大会が開催されます。スポーツの発展に県民の力を結集して
いけるよう取り組んでいきたいと思います。

2012年度、私は、健康福祉・病院常任委員長をつとめさせていただき、
この間、地域の皆様からは、医療、高齢者・障がい者・児童福祉等の
充実を求める切実な声を多数いただきました。調査し議論してきたこ
とが県政に反映できるよう精一杯取り組んでいきます。
今後もご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。



あるく！きく！ 活動報告 Vol.3

県内外の調査や地域を歩くことに
より、多くの皆さまと対話をし、
県政の課題をつかむ活動です。

2012年度は、県内外の さまざまな医療現場を調査しました。

三重大学医学部附属病院、国立病院機構三重病院、三重県立こころの医療センター、三重県立
一志病院、鳥羽市立桃取診療所、J A長野厚生連佐久総合病院、静岡県立静岡がんセンターなど。

がん対策の推進は、県民の願いです！

静岡県立
静岡がんセンター

- 我が国は、がんによる死亡者数の割合が最も高く、年々増加しています。そこで、全国的に優れた先端医療や緩和ケア、「よろず相談」など特色ある医療が実施されている静岡県立静岡がんセンターを視察しました。
- 三重県でも、今後は、がん検診受診率向上、地域がん登録の推進、緩和ケアの医療体制づくり、施設・設備の充実、がん相談支援センターの充実が必要です。がん対策推進条例の策定などに取り組みます。

相談は治療に
限らず、医療費や就労など
暮らしの相談も！



【よろず相談】



命の恩人 ドクターへり！

「一秒でも早く！」と
訓練にも懸命に
取り組んでいます

【県総合防災訓練の様子】

- ドクターへりの利用により、県内全域で約35分以内に医師の初期治療が受けられるようになります。救命の可能性が高まっています。
- 津市内で交通事故により脳挫傷となった方の言葉です。「ドクターへりによって命を助けられました。ドクターへりの早い処置のおかげで、後遺症も緩和されています。」



あなたの声、あなたの思いを 「かたち」に!!



災害に強いまちづくり！

2011.3.11以降、要望してきました

〈1〉県の施設を避難所に！



「近所に県立高校があるのに、なぜ遠くの小学校が避難所になっているの？県の施設を避難所に開放してほしい！」（津市内の自治会長さんからの要望）



要望しました！

避難所指定は市町の役割ということで、これまで県の施設は、あまり避難所等に活用されていませんでした。この要望を受け、県の施設を積極的に活用してほしい！と訴えてきました。



決定しました！

津市は、1月24日、新たに津波避難ビルとして、県津庁舎本館、県勤労者福祉会館、県立津工業高校、県立みえ夢学園、県立聾学校を、津波避難ビルに指定しました。

〈MEMO〉あなたの避難袋に
歯ブラシは
入っていますか？

災害時には、口の中が不衛生になるため、細菌によって肺炎などの病気を引き起こすことがあります。



2012.11.4

〈2〉特別支援学校を避難所に！



「子どもたちが慣れ親しんでいる特別支援学校を避難所に指定してほしい」（障がい児の保護者からの要望）



要望しました！

災害時に地域で避難所生活を送れることが、望ましいのですが、障がい児は、他の人に迷惑がかかるからと、家族も遠慮して避難所に入れない事態が起こっています。こんなとき、特別支援学校を避難所に！と訴えてきました。



決定しました！

三重県立いなば特別支援学校を避難所に指定する準備がされています。

もうかる農業へ女性参画を！

2012.10.26

「もうかる農業」をテーマに、「みえ現場de県議会」をアスト津で開催しました。農業、畜産業、農産物加工業等に従事し、元気に活動している女性11名と県議会議員13名が活発に意見交換しました。

～女性たちが、力強く発信！～

- 若者の新しい発想や行動力が商品開発や販路拡大に生かされている。
- 新規就農者が受けやすい補助金制度を！



- 国のマニュアルにとらわれすぎず、県、市町はもう少し柔軟に！
- 3K（きつい、きたない、くさい）から、新しい3K（健康、きれい、希望）の持てる農業をめざしたい！
- もっと女性が発信できる場を広げたい！



ご意見等は、今後の議会での議論に反映させ、生き生きと農業等に従事する女性たちをしっかり応援していきます！



「障がい者就労支援」の促進を！

現在、三重県の法定雇用率は全国46位。そんな中、障がい者のみなさんが生き生き働いている現場を視察してきました。

障がい者はうちの戦力です。いなければ、この工場は一日も動きません。
(ベテラン指導員さん)

2012.8.30



株式会社トモ

従業員1,400人のうち障がい者雇用32人。松阪市の物流センターでは、障がい者が食品の仕分け作業を、生き生きと確実にこなしています。

2012.8.29



就労継続支援A型事業所 アクティブ鈴鹿(社会福祉法人朋友)

鈴鹿市にあり、自動車用ワイヤーハーネスの加工・組み立てや、リーフレタスなど葉物野菜の水耕栽培をしています。

農作業にピッタリ合う個性の人人がいる。農作業に合う障がい者は、もつといふと思う。(施設長さん)

2012.8.30



ブリヂストン・ケミテック株式会社

名張市にある工場です。従業員約600人のうち障がい者雇用25人。厚生労働大臣賞など、障がい者雇用推進の数々の賞を受賞しています。

2012.9.4



三重大学 企画総務部 定型業務等運営・支援センター

障がい者10名、指導員2名のキャンパス環境整備グループが、雑草地から「芝桜の丘へ」を合い言葉に、やりがいをもって働き、雑草地が見事に芝桜の丘に生まれ変わりました。



議会で質問しました

2012.9.28

質問

「共に生きる社会」をめざして
「障がい者就労支援」の促進を！

答弁

【知事】障がい者が当たり前に働ける社会づくりをめざしたい。今後は、産業界や労働界などとも連携し、障がい者が生き生きと働き、多くの方が障がい者雇用の重要性を認識してもらえる場の創設を検討したい。

【雇用経済部長】雇用プランを提案し、1000社訪問等で企業に情報提供し、雇用の場の拡大を図りたい。雇用経済部が収集した各企業の情報を、一元的に管理し、特別支援学校や関係機関に情報提供するしくみを構築したい。

答弁

【農林水産部長】農業分野での雇用拡大の可能性は十分に期待できる。農業技術・経営指導や農業ジョブトレナーの育成など、着実に推進していきたい。

要望

- ・運転免許を持っていない障がい者も、自転車や徒歩で通勤できる事業所で働けるように！
- ・障がい者が働いている現場を、もっと大勢の人に知つてもらいたい！
- ・難病者の就労支援も検討いただきたい！



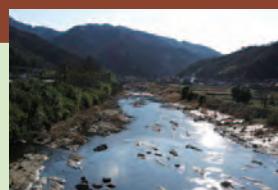
HAPPY・MIE・PROJECT

2012.11.18

「つ・環境フェア」で「雲出川フォーラム」開催！(新雲出川物語委員会企画運営)

あなたの家の
水道水は、
どの川から？

私の自宅の水道水は、雲出川から取水しています。「津市民の生活に欠かせない雲出川の環境をみんなで考えよう！」をテーマに、雲出川フォーラムが開催され、私もパネラー参加し、「命の源 雲出川への思いや、ネットワークづくりの必要性を訴えました。



「命の根源」である水、空気、食は、山、川、海がはぐくむ。感性を高める環境教育を！山、川、海、まちのネットワークづくりを！



各パネラーの発表

- ・久居農林高校環境保全コースで学ぶ高校生たちは、自然環境の保全や循環型の資源活用に取り組んでいる。(久居農林高校)
- ・海は森の恋人！漁業者が自ら植樹活動に取り組んでいる。(香良洲漁協)
- ・森の保全管理が流域の環境を守る。(中勢森林組合)
- ・上流と下流の人が相互理解し川を考える必要がある。(元津市連合自治会長)
- ・山川海の連携、行政と市民団体の連携で、共生する社会を創っていこう！(川づくり会議みえ)

東日本大震災復興支援ネットワーク 「こころネット」活動報告

No.2

子どもから高齢者まで、「久しぶり！」と挨拶を交わす姿が印象的でした。



仮設住宅で、うちわ作り

おしゃべりしながら楽しく
万華鏡を作りました。
「腹が立つときは、この綺麗な
万華鏡をのぞくわ！」

避難所を3度も転々とながら今の施設に落ち着いた
そうです。「こころネット」の訪問は大歓迎され、
「津軽海峡冬景色」は、アンコールが何度も！

障がい者支援施設
「はまなす学園」で音楽会！

2012.8.2~8.5

2度目の訪問！ 山田町(岩手県)

「こころネット」(代表:杉本ゆや)は、子どもたちの夏休みにあわせて、8月2日～5日に、再び山田町を訪問しました。山田町社会福祉協議会から依頼をうけ、「さまあちゃんれんじ」(夏休み子ども教室)に参加したり、仮設住宅や障がい者支援施設を訪問しました。これからも被災地を見守り続け、「できる支援をできるだけ」していきたいと思います。



今回は、現職の大工さんが参加され、素晴らしい作品が出来上りました。子どもたちも満足！

「山田町を愛する思いを込めて！」子どもたちは、炎天下、大きく大きく、自分の思いを描きました！



さまあちゃんれんじ「真っ白なテントに絵を描こう！」
(ボランティアセンターの資材置きドームテント)

「こころネット」の活動に、引き続き多くの方々がご支援いただいています。現職・退職の女性教職員、「シュワ津募金」(シャンパンの売上金から募金)に取り組み続けてくださる店主、毛糸で帽子やマフラーを編み送って下さる方等々です。心から感謝申し上げます。

開かれた議会へ
すすめます！

**議
会
改
革**

【通年議会スタート!! 期日数は338日！(1月17日～12月20日)】



平成25年から、三重県議会は定例会の招集回数を年1回として、年間を通じた議会活動が始まりました。全国3例目です。

1年間を超える長期間、「会期等のさらなる見直しに関する検証検討プロジェクト会議」で、議論を重ね、通年議会とすることになりました。私は、このプロジェクト会議の座長をつとめました。通年議会のスタートは感無量です！(写真:最終報告の様子)

通年議会になると…

- ・いつでも会議を開催し県政の課題について議論し、議決できる
- ・執行部の行政活動を継続して監視できる
- ・災害などに対する危機管理体制が強化される



杉本ゆや県政懇談会開催中!!

県政・県議会に対してのご質問・ご意見を聞かせていただこうと、各地域で懇談会を開催中です。子どもたちの笑顔あふれる未来をめざし、くらしの切実な願い、現場の声、女性たちの思いを県政に反映できるよう精一杯とりくみます。皆さまもお気軽にご参加ください。

県政・県議会に対してのご質問やご意見をお待ちしています。



杉本ゆや事務所

(各地域で行われる行事などにもどんどん声をかけてください)

〒514-0003 津市桜橋2丁目142 TEL 059-226-6252 FAX 059-227-7139

■「杉本ゆや」で検索するとホームページをご覧頂けます。

